



地域医療推進委員長を拝命して

地域医療推進委員会
委員長 加藤 良成



平素は当院の地域連携室の運営につきましては格別のご厚誼を賜り、厚くお礼申し上げます。退職されました前副院長中村正人先生の後任として4月1日付で診療局長兼地域医療連携担当として地域医療推進委員会の委員長を拝命いたしました。私は平成7年に市立貝塚病院に赴任いたしましたから、当院の在職も早15年になりましたが、地域の先生方の多大な支援のもと日々の泌尿器科診療に携わってまいりました。今日の医療を取り巻く状況は日々困難さを増しておりますが、本院の置かれている厳しい状況も変わらず、先生方のご協力を頂きながら病診連携の推進、充実がますます必要になってくると考えております。この大事な時期に病院と先生方の橋渡し、病

診連携の推進という大役を仰せつかり、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

一時は、医師不足により内科の縮小を余儀なくされましたが、現在は内科の循環器、消化器、内分泌、呼吸器の専門部門と神経内科が順調に整備され、また形成外科が新たに開設されるなど先生方のご信頼に応えられるような医療体制が回復しつつあると感じております。一方、外科系医師の技量に対するご信頼をいただき、手術数は年々増加を続けております。市民の皆様、地域の先生方により一層の信頼を頂ける病院作りを目指して、病診連携の推進に鋭意努めてまいりたいと思っておりますので、ますますのご指導ご協力を御願いたします。

貝塚病院理念

歓の医療

多くの患者さんに健康を取り戻す**歓**びをもたらせるよう努力します。患者さんの**歓**びが自らの**歓**びになるような職業人を目指します。

和の医療

複雑、高度化した医療では、個人、職場、院外医療施設の**和**が大切です。各々の立場で職務を果たすとともに、チーム医療を目指します。

技の医療

“仁術”だけでは病気は治せません。医療・看護**技**術の研鑽に努め、より高水準の医療を目指します。

病院基本方針

- ・ 患者さんの立場で考え、互いに**歓**びあえる医療をめざします。
- ・ 病病・病診連携を密にし、急性期医療をめざします。
- ・ 癌死亡率を減少させるため、早期発見の充実をめざします。

(平成16年12月改定)

肺癌や肺炎などの内科疾患を

市立貝塚病院

特任副院長(内科)

まつい かおる
松井 薫



平成22年4月より、市立貝塚病院に参りました特任副院長の松井 薫です。

熊本大学医学部を昭和50年卒業し大学および研修病院で2年間の研修後、関連病院に派遣され診療を行っておりました。卒後6年目にして呼吸器科医をめざし、大阪は羽曳野病院(現大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)で研修をはじめました。途中1度母校に呼び戻されましたが再度羽曳野に戻り、大阪での生活も前後あわせて30年になりました。

呼吸器のなかでも、肺癌を専門に、厚生労働省がん研究班肺がんグループや西日本がん研究機構(WJOG)に属して診療・研究をおこなってきました。

呼吸器の病気は非常に多彩ですが、その中でも手術の適応とならない肺癌や、肺炎、胸膜炎、慢性閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患などの内科疾患を担当します。また呼吸器系の異常は、しばしば他科の病気に合併して生じます。

健康診断で、胸部X線異常を指摘された場合の精密検査もこちらです。これら様々な呼吸器の病気に対して放射線科や検査科をふくむ他の診療科との密接な連携のもとに迅速な診断と最新の治療が提供できるように努力して参りたいと思います。

当院は、まだまだマンパワー的に厳しい状況で、なかなか思い通りに動けない事情もございますが、頑張りたいと思います。ご指導よろしく願いいたします。



■ 診療日 毎週 火曜・金曜日

■ 診療受付 8:00~11:30 12:00~15:00

■ プロフィール

学 歴 昭和50年 熊本大学医学部卒業
所属学会 日本内科学会 認定内科医
日本呼吸器学会認定 専門医
日本呼吸器内視鏡学会 専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会 暫定指導医
日本がん認定機構 暫定教育医
日本医師会認定 産業医

第101回「泉州胸部レントゲン検討会」

と き 平成22年7月8日(木)
午後6時30分~8時

ところ 市立貝塚病院 7階講義室

内 容 レントゲンフィルムの検討会

コメンテーター・ミニレクチャー

『 COPD の肺機能検査 』

市立岸和田市民病院 呼吸器・アレルギー科

部長 加藤 元一 先生

司 会 高松内科 高松 健次 先生

共 催 岸和田・泉佐野泉南・貝塚各医師会

血液疾患(貧血疾患・幹細胞疾患など)の診療を

市立貝塚病院

顧問(内科)

かなまる
金丸

あきひさ
昭久



本年4月から市立貝塚病院の内科(血液内科)のお手伝いをする事となりました金丸昭久です。

私の専門分野は、貧血疾患・幹細胞疾患・造血器腫瘍・出血性疾患などです。

血液内科とは

血液内科は、再生不良性貧血、骨髄異形成症候群などの骨髄不全症候群と白血病、リンパ腫、骨髄腫などの造血器腫瘍が主な専門分野です。いずれも治療が難しく、致死的な疾患が多い領域であると同時に、細胞遺伝学的アプローチや分子標的医療などの先端医学を最も先取りして臨床応用している分野でもあります。

前任の近畿大学血液内科では、優れて能力の高いスタッフが医療チームを構成し、昼夜を問わず、精力的に活動して、厚労省の特定疾患の難病研究班やがん治療研究助成金の白血病研究班、科学研究助成金の造血幹細胞移植研究班に参画して、最新で高度の専門的知識、技能を極め、確かな経験に基づく医療を実践してきました。

地域医療の最前線で地域の先生方と連携をとりながら血液疾患などの治療に少しでもお役に立てればと考えております。



■ 診療日 毎週 金曜日

■ 診療受付 8:00~11:30 12:00~15:00

■ プロフィール

学歴 昭和43年 大阪大学医学部卒業

現在、近畿大学医学部ライフサイエンス研究所特任教授

近畿大学医学部血液内科前教授

所属学会 日本内科学会前理事・現功労会員、日本血液学会功労会員、
日本造血細胞移植学会功労会員、日本リンパ網内系学会評議員、
国際血液学会、国際実験血液学会、米国血液学会

主要な研究テーマ

骨髄不全症候群の病態解明と治療法開発に関する研究

難治性血液疾患に対する骨髄移植療法に関する研究

骨髄異形成症候群-急性白血病に対する化学療法の改良に関する研究

発作性夜間血色素尿症の幹細胞分化と GPI 蛋白の発現に関する研究

大腸疾患を含む消化器疾患の幅広い診療を

市立貝塚病院

顧問(内科)

きたの
北野

あつお
厚生



本年4月から縁あって市立貝塚病院の内科(消化器)のお手伝いをする事となりました北野厚生と申します。

私の専門分野は、大腸疾患を含む消化器疾患です。

大腸疾患の現状

大腸疾患の増加が報告されて以来、想像以上にその増加は目覚ましく、大腸ポリープ、大腸癌をはじめ感染性腸疾患や潰瘍性大腸炎、クローン病などのいわゆる炎症性腸疾患の増加もまた目覚ましいものがあります。さらに、腸管機能性疾患としての下痢、便秘、さらには過敏性腸疾患においても然りです。

これらの増加する大腸疾患に対応するためには臨床症状に基づいた診療はもとより、種々の検査を駆使して対応することが必要であります。また、無症状の大腸疾患潜在患者を早期に診断、治療することも非常に大切であります。

医食同源といわれるごとく食生活、食習慣の指導並びにその是正も大腸疾患の予防はもとより成人病の予防の見地からも重要であります。

以上、幅広く大腸疾患を含む消化器疾患への診療アプローチを積極的に実践していきたいと考えております。

病診連携の推進にあたり地域の先生方の診療に少しでもお役に立てれば幸いです。



■ 診療日 毎週 木曜日

■ 診療受付 8:00~11:30 12:00~15:00

■ プロフィール

学歴 昭和44年 大阪市立大学医学部卒業

第3内科にて消化器病学(主として大腸疾患の病態と治療を研究)

所属学会 日本消化器病学会(認定医・指導医・財団評議員)

日本内視鏡学会(認定医・指導医・専門医・評議員)

日本大腸肛門病学会(認定医・指導医・専門医・評議員)

日本内科学会(認定医)

主要な研究テーマ

潰瘍性大腸炎・クローン病・大腸癌などの病態、治療の研究

腹腔鏡手術(腎、副腎腫瘍)に力を入れて

市立貝塚病院

泌尿器科部長

はしもと きよし
橋本 潔



本年4月から市立貝塚病院泌尿器科に着任致しました橋本 潔と申します。

平成元年卒で、約15年前にも貝塚病院に3年ほど勤務しておりました。日本泌尿器科学会専門医、指導医、日本がん治療認定医機構認定医の資格を持っております。

専門は泌尿器科全般ですが、悪性腫瘍手術、特に腎、副腎腫瘍に対する腹腔鏡手術に力を入れていきたいと考えています。該当症例が有りましたら御紹介いただければ幸いです。また長期的には逆紹介を含め地域の先生方と密接に連携した医療を行っていきたくと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



「乳がん自己検診法」 出前のご案内

乳がんの早期発見の有効な手段の一つに、自己検診法があります。自分の体は自分で守らなければなりません。毎月、月経終了後4~5日ぐらいに、また、閉経後の人は毎月、日を決めて調べるのが大事です。

当院では看護部が中心になって自己検診法の「普及キャラバン隊」を結成し、地域に出向く

取り組みを行っています。職場の休憩時間や地域の集まりに伺いますので、お気軽にお申し込み下さい。

出前条件 参加人数は原則10人以上
時間帯 火曜日の午後1時~午後4時
出前範囲 貝塚市および近隣市町
費用 無料
申込 地域医療連携室(電話 or FAX)
電話 072-422-5865
FAX 072-438-5511



【貝塚乳腺フォーラム】

当院では、外科、放射線科、病理部の医師や技師が月に一度集まって、マンモグラフィ、エコー検査の読影や細胞診、病理組織の見方など、それぞれの垣根を越えてディスカッションする会を開いています。

乳腺疾患に興味をお持ちの方は、お気軽にご参加下さい。

日時：地域医療連携室(☎438-5522)までお問合せ下さい。

場所：当院1階放射線科読影室

問合せ：乳がん高度検診・治療センター
副センター長兼放射線科部長

沢井 コカ

貝塚市医師会学術講演会

日時 平成22年6月17日(木)

午後2時～3時30分

場所 貝塚保健・福祉合同庁舎 3階 講堂

講演

演題 「糖尿病の治療目標とその他の話題」

講師 市立貝塚病院

内科副部長 丸川 聡子 先生

参加対象者 医師あるいは医療従事者

連絡先 貝塚保健・福祉合同庁舎 4階

貝塚市医師会 ☎072-423-4130

【要旨】

生活習慣の変化により、糖尿病および耐糖能異常の有病率は増加の一途をたどっています。国民生活基礎調査からは、現在糖尿病が強く疑われる人の比率が15.1%とされており、その約4割は未治療と推測されています。

一方、糖尿病の診断基準が厳格化される予定です。また糖尿病のコントロール目標については、細小血管症はもとより、近年は心血管および脳血管障害のリスク低減のためには診断後早期からの良好なコントロールが必要であるとの大規模研究の結果が発表されています。従来なら軽症糖尿病として加療されてこなかった新規診断糖尿病が増加すると予想されま

すが、初めて糖尿病と診断された場合の治療や、コントロール悪化時の治療などを、症例や最近使用できるようになった新しい薬剤のお話をまじえてお話させていただきます。

見逃されがちな合併症である糖尿病足病変ですが、当院で行っているフットケアのご説明をしながら、予防と早期発見についてお話させていただく予定です。

外来栄養指導のご案内(平成22年6月よりスタート)

地域の皆様の食生活をサポートしていくために患者様の希望により地域の先生方からご依頼があれば患者様に個別の外来栄養指導を行います。予約枠は毎週金曜日の3名です。ぜひご利用ください。

予約枠 毎週 金曜日 ① 午前9時30分
② 午前10時
③ 午前10時30分

※予約申込は地域医療連携室までお願いします。

第20回 市立貝塚病院 市民公開講座

とき 平成22年6月25日(金)
午後2時30分～4時

ところ 市立貝塚病院 7階講義室

テーマ 「膵臓がんについて」

講師 当院内科副部長 石田 哲士

参加費 無料(定員80名)

【要旨】

現在、膵臓がんは悪性腫瘍による死亡原因の男性で5位、女性で4位であり、その数は年々増え続けています。

膵臓がんは難治がんと言われていますが、その原因のひとつに早期発見が難しく、症状が出たときには、すでに進行してしまっていることが多いことが挙げられます。

しかし、早期に発見できれば膵臓がんも治療が可能です。

▽ 膵臓がん特に注意したほうがよいひとは？

▽ 発見するためにはどのような検査をすればよいのか？

▽ 治療にはどのようなものがあるのか？

地域医療連携室報告(紹介患者数報告)

ご紹介ありがとうございました!

平成22年3月 306人ご利用いただきました。

平成22年4月 330人ご利用いただきました。

平成20年度 月平均 259人

平成21年度 〃 285人

平成22年度 〃 330人(4月)



※ 左記報告は地域医療連携室を通じての件数です。当連携室をご利用くださいますと、ありがとうございます。ご紹介いただきました患者様の件数など、お気づきの事がございましたらご指導ください。

今後ともよろしく申し上げます。

※ お問い合わせ 地域医療連携室

☎ 072-438-5522